静岡県西部家畜保健衛生所







〒431-3111 静岡県浜松市東区中郡町 392 TEL 053-434-2921 FAX 434-2923 E-mail seibukaho@pref.shizuoka.lg.jp

1 沿革

昭和25年8月 小笠郡桜木村に小笠家畜保健衛生所を設置

昭和27年4月 磐田家畜人工授精所を磐田家畜保健衛生所に改称

浜松市上島町に西遠家畜保健衛生所を設置

昭和43年4月 小笠家畜保健衛生所と磐田家畜保健衛生所を統合し、中遠家畜保健

生所として掛川市下俣に設置

西遠家畜保健衛生所を西部家畜保健衛生所に改称

昭和44年5月 西部家畜保健衛生所を浜松市中郡町に移転(現所在地)

昭和60年10月 中遠家畜保健衛生所を磐田市見付(中遠総合庁舎)に移転

平成11年4月 中遠家畜保健衛生所と西部家畜保健衛生所を統合し、西部家畜保健

衛生所(中遠農林事務所家畜衛生課)及び同浜松分室として発足

平成25年1月 西部家畜保健衛生所(中遠農林事務所家畜衛生課)を西部家畜保健

衛生所浜松分室に移転し、西部家畜保健衛生所として発足

2 機構及び職員数

西部家畜保健衛生所(中遠農林事務所家畜衛生課) 〈14名〉

西部家畜保健衛生所長(兼技監)1名

家畜衛生課長(兼保健衛生班長) 1名

防疫班(6名)

班長1名 専門主査2名 主任3名 技師1名

保健衛生班(6名)

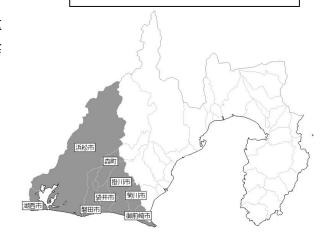
班長(兼務) 1名 専門主査 1名 主任 3名 技師 1名

3 業務概要

- (1) 家畜伝染病の発生予防・予察に関する検査
- (2) 家畜衛生対策の指導
- (3)動物用医薬品の許認可と適正使用の指導
- (4) 飼育動物診療施設の指導及び獣医事業務
- (5) 安全な畜産物生産のための指導
- (6) 畜産経営環境保全対策及び指導
- (7) 家畜伝染病等の病性鑑定業務

4 管内図

浜松市、磐田市、掛川市、袋井市、 湖西市、御前崎市、菊川市、森町



5 主要家畜飼育状況

(令和4年2月1日現在)

音 種	管内戸数* ¹ (戸)	管内頭羽数* ¹ (頭、千羽、群)	県内頭羽数 (頭、千羽、群)
乳用牛	5 8	4, 550	13,700*2
肉用牛	6 4	9, 547	19,500*2
豚	6 8	61,669	95,000*2
採卵鶏	3 4	1, 740	5, 732*2
肉用鶏	1 2	3 2 8	9 9 6 * 3
みつばち	1 4 8	1,823	5,667*4

*1 当所調べ、*2 農林業センサス、*3 農林水産省「畜産統計」(R4.2.1 現在)、*4 県畜産振興課調ベ(R4.1.1 現在)

6 管内畜産の特色

【酪農】

生乳生産量が県内第2位である酪農組合が、耕作放棄地等を活用してコントラクターによる自給飼料生産を行うとともに、食品残渣を利用したTMRセンターを運営している。一方、牛乳の宅配、アイスクリーム・チーズの製造・直販など6次産業化の取り組みも進んでいる。

【肉用牛】

飼養規模の拡大で収益を伸ばす農家や、繁殖肉用牛を飼養して一貫経営に取り組んでいる農家がある。また、生産者団体が中心となった高品質肉牛のブランド化により、販売競争力を高める動きが進められている。

【養豚】

湖西市を中心に県内でも屈指の養豚が盛んな地域であり、ブランド豚肉の生産 ほか、子豚や種豚生産をしている農家も多い。

一方、浜松市や磐田市の丘陵地帯には多数の養豚農家が存在したが、都市化の 進行とともに減少を続けており、生産者にとっては厳しい環境になっている。

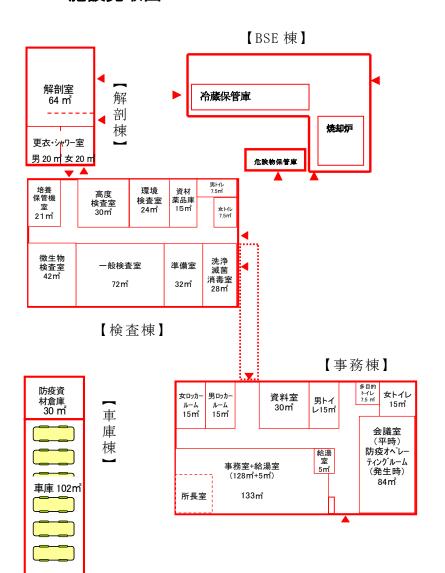
【採卵鶏】

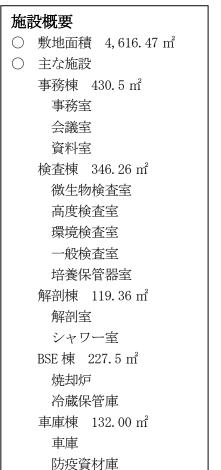
県内外に販売を行っている大規模養鶏場(10万羽以上)が3戸ある。一方、小規模ながら農場併設販売所やファーマーズマーケット等で直接販売をするなど、消費地に近い利点を生かした販売戦略を実践している農家も多数みられる。

【肉用鶏】

農場のほとんどは、管内の食鳥処理場の直営農場若しくはインテグレーションである。一方、ブランド鶏生産を経営に取り入れた農場も少数ながら存在する。

7 施設見取図





危険物保管庫 15.00 m²

8 交通

<鉄道> JR浜松駅より遠州鉄道に乗り換え、 遠州西ヶ崎駅下車 徒歩約10分 <自動車>

- 「男子) 東名高速浜松ICから車で約 10 分

